

# 5Sが人間の基本

会社の上司や学校教師など、指導者はその言行によって若い人に模範を示し育てる立場にある。下  
が信頼尊敬すれば「この人の言うことなら」と従い、まねる。指導者は知識と技能だけでなく総合的  
な人間のデキがよいこと、すなわち十分な人間性（知識教養人格）を備えていることが求められる。

## 人間性欠如人間は騒ぎ立てる

元校長辻井勝氏の手紙は続く。「福井の中学校がマスコミにと  
りあげられるのは稀だからであり、他より優れているからであり  
ます。大多数の学校は子供に対し  
て人間性の教育をしておりませ  
ん。それは教師自身に指導者とし  
ての人間性が備わっていないから  
だと言えます。頭でっかちで  
プライドが高く上の言うことを素  
直に聞かれません。新米教師まで自  
分は完全な一人前と思つていま  
す。大学院出の教師は特にその傾  
向が強く見られます。」

採用に問題があります。採用担  
当者（私もその一人でした）がベ  
ーパーテストの点数や表面的な態  
度、受け答えで採用してしまいま  
す。指導者としての人間性を見て  
いません。」

沖繩の基地のフェンスに反対の  
デモを張り、デモ活動をするのは  
元教師が多いと聞きます。国の年  
金をもらっていないが反国家の活  
動をするのは人間性に大きな欠陥  
があると思いませんか。」

日本の子供の学力は世界ではレ  
ベルが上位にありますが、人間性  
といった面では疑問符が付きま  
す。」

二指摘のとおり、教師の質の向  
上は学校や文科省だけでなく政府  
の課題だと思います。」

頭でっかちでプライドばかり高  
い人である。地震や台風で  
被害にあつても、自分の不幸を訴  
えず、支援せよ補償せよと要求し  
ない人である。

人間性を備えた大人とは、騒ぎ  
立てない人である。地震や台風で  
被害にあつても、自分の不幸を訴  
えず、支援せよ補償せよと要求し  
ない人である。

人間性欠如人間が増えたので、  
ついにはホームに落ちる人をなく  
すため山手線のホームに壁が設け  
られた。落ちない注意と落とされ  
ない用心をするのが大人である  
が、「また落ちた、危ない、もつ  
と安全に」と騒ぎ立てる幼児的な  
声が勝つてきたのである。

日本の学校教師には優秀な人が  
少なくない。二・六・二の原則ど  
おり二割は優秀である。問題は普  
通の六割が劣等の二割のほうに近  
いことである。この六割のでもし  
か教師、労働者教師の人間性を高  
めなければならぬ。

辻井氏は「教師が成長するかし  
ないかはどの学校に配属されるか  
で決まります」と言っているが、  
これでよくなる教師は一割もいな  
いだろう。人間性向上の具体的教  
育方法が必要である。それは学問  
の領域ではなく身近な生活の領域  
にある。

## 入野さん凸斗君ちはごみ屋敷

一人に一人の天才と百人に一  
人のばか人間性を求められな  
い。「あの人は天才だから」「あ  
い」と言う。

部屋に物がが増えて足の踏み場も  
ないので夫が片付けると「さわら  
ないで」「それいらないよ」「とつ  
と」。夫婦喧嘩の種である。

主婦の寝室はベッドの回りも物  
で一杯。居間も散らかし放題。初  
めは何もなかった客間も物が積  
れ物置き化しつつある。

押入れやたんすなど収納部は十  
分あるが、みな満杯で外に物があ  
ふれている。さらに通信販売で物  
を買おうと玄關まで雑多な物が置  
かれていた。

夫は「入野さん凸斗君ちはごみ  
屋敷」と川柳でからかうが主婦は  
この川柳がピンとこないよう態度  
行動を改めない。相変わらず「そ  
れいらないよ」「とつとく」と夫  
を責めている。夫は自分がいなく  
なれば本当にごみ屋敷になつてし  
まうと心配して「捨てる、戻す、  
分ける」である。

いらぬ物は捨てる。いつか使  
うかもしれないがいつ使うかわか  
らない物は捨てる。使った物は所  
定の場所に戻す。中華料理店の料理人  
は料理を作るとその手で鍋を洗っ  
て戻す。これが習慣になっている。  
例の主婦は包丁もしゃもじも鍋も  
流し台に積みあげて戻さない。分

けは同種の物を分類すること。  
場所を決めて一応分けて置く。だ  
がいらぬ物、使わない物が混ざ  
っていく。また戻す時に違う場所  
に入れてしまう。こうして「分  
類」は名ばかりになる。

捨てる、戻す、分けるができな  
い人は人間性が劣る。物の整理整  
頓は頭の中の整理整頓と連動して  
いる。

「何を言っているのか解らない」  
と言われる人は頭の中がごちゃご  
ちゃである。身の回りが整然とし  
ていないから頭の中も整然としな  
い。頭の捨てる、戻す、分け  
るがうまくできないのである。外  
から吸収する知識を整理整頓でき  
ないので「何を言っているのか解ら  
ない」「何が書いてあるか解らない」  
となる。もちろんキラッと光るア  
イディアなど出ない。つまり仕事  
ができない。人を指導できない。  
天才とばか除外と言つたが、  
物心つかない赤ん坊と体が動かな  
い老人も除外される。こうした人  
は社会の被保護者である。これ以  
外の人は人間性の土台として整理  
整頓できることが求められる。

「片付けなさい」「使った物はもと  
に戻しなさい」である。

おもちゃを散らかしつ放しにし  
ている子供を叱らない親はいな  
い。きちんと片付けたなら我が子  
をほめない親はいない。

人間性教育の端緒は整理整頓清  
掃清潔しつけの5Sである。大人  
ではもちろん、学校でも家庭でも  
健全な生活が送れない。だから親  
は子供を厳しくしつける。天才と  
ばかを除かれるが、ふつうの人  
は5Sができないと仲間外れにさ  
れる。それだけでなく上司や教師  
など指導的立場には立てないし、  
仕事もできない。

ある主婦。夫がダンボールの空  
箱を捨てようとすると「捨でない

経営管理講座 299 染谷和巳

## 整理整頓すれば意識が高まる

意識（物の見方考え方）は知識  
と経験が決まる。自分にとって何  
が大事か大事でないか、会社にと  
つて何が大事か大事でないか、国  
にとつて何が大事か大事でないか  
の判断がその人の意識を作つてい  
く。

ということ、いくら知識を得  
ても、いくら経験を積んでも、頭  
の中でその軽重大小の整理整頓が  
できなければ高い意識の持ち主に  
はなれない。

国や会社にとって大事なこと、自分  
にとつても大事なことである。自分  
は国民であり社員だからである。自  
分たとえば会社は存続、信用、利益  
などを大事にする。これを軽視し、  
逆らい、潰そうとする社員は意識  
が低い。労働者意識は会社が大事  
にするこつとした価値を尊重しな  
いから会社にとつて低い意識にな  
る。

学校は子供の健全な成長を大事  
にするが、教師小原礼子は教室で  
それに反する言動をした。子供の  
成長に悪い影響を与えた。よつて  
教師失格の低い意識の持ち主であ  
る。

昭和十一年（一九三六）の二・  
二六事件。青年将校十余名が負し  
い国民を救うために「昭和維新」  
を旗印に首相大臣などの要人を襲  
撃して新政府樹立を要求した。

このテロが失敗したのは天皇の  
意思と国の法と秩序を軽視したた  
めである。天皇のためと言いな  
がら天皇の意思に背いた。そのため  
逆賊として罰せられた。明治維新  
が成功したのは薩長軍が天皇を上  
にいただいて官軍として幕府軍と  
戦つたからである。青年将校の言  
動は会社を潰す過激な労働運動を  
煽動する労働者意識の発露に似て  
いる。

意識は幅広い知識と経験を、捨  
てる、戻す、分けるの整理整頓によ  
つて高めていく。頭の中の整理  
整頓ができないと、片寄つた思想  
の狂信者になったり、民意に流さ  
れる付和雷同者になったりする。

もうお金と働き（エネルギー  
量）をはかりにかけて、より少な  
く働きより多くのお金を得ようと  
する意識の人は会社でも学校でも  
有害無益であり、経営者はこうし  
た人を断固排除しなければならぬ

もし排除できないならこの人の  
意識を変えなければならぬ。話  
しても読ませても意識は変わらない。  
できるよつ教育しなければならぬ  
い。

では整理整頓できない人をでき  
るようにするために指導者はどう  
すればいいか。

「何を言っているのか解らない」  
と言われる人は頭の中がごちゃご  
ちゃである。身の回りが整然とし  
ていないから頭の中も整然としな  
い。頭の捨てる、戻す、分け  
るがうまくできないのである。外  
から吸収する知識を整理整頓でき  
ないので「何を言っているのか解ら  
ない」「何が書いてあるか解らない」  
となる。もちろんキラッと光るア  
イディアなど出ない。つまり仕事  
ができない。人を指導できない。  
天才とばか除外と言つたが、  
物心つかない赤ん坊と体が動かな  
い老人も除外される。こうした人  
は社会の被保護者である。これ以  
外の人は人間性の土台として整理  
整頓できることが求められる。